

１ 社会・治安情勢

当地ＮＧＯの統計によれば、２０２５年１月（２、３月分は未発表）に発生した抗議デモの件数は４０１件で、前年（４７８件）比で約１６％減少（７７件減）しました。１月１０日には、大統領就任式が執り行われ、これに先立ち９日に野党側による大規模な集会が行われましたが、大きな衝突は発生しませんでした。その後、大規模な集会やデモは発生しておらず、比較的落ち着いていますが、政治的緊張は継続していますので、引き続き注意が必要です。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１） 全般

当地治安当局によれば、２０２５年１月～３月の全国の犯罪発生認知総件数は前年同期比で約２％減少しました。全国的に犯罪の認知件数は減少傾向にありますが、カラカス首都圏での殺人、強盗、窃盗事件は昨年比で増加しました。この要因としては、地方から人口が首都圏に流入していることが考えられます。

（２） 各論

同当局によれば、偽のホームページから個人情報や口座情報を抜き取るフィッシングサイトによる被害が増加しています。また、ＳＮＳ上で極端に安い商品を掲載し、それを信じた被害者に架空の商品等売りつける詐欺事件も増加傾向にあります。こうした被害に遭わないためにＳＮＳでの情報を鵜呑みにせず、信頼のおけるショッピングサイト等を利用するなどして、詐欺に遭わないように注意してください。

（３） 邦人等の被害事案

なし。

３ 薬物・銃器事件発生状況

報道等によれば、今年１月中旬からコロンビアとの国境地帯において、５０００人規模の軍隊を投入する「カタトゥンボ電撃作戦」と呼ばれる治安維持活動が始まりました。コロンビアのカタトゥンボ地域と接するスリア州やタチラ州において、複数の薬物密売組織の拠点が解体され大量のコカインや銃器が押収されました。さらに、これら犯罪組織との繋がりがあったとして、スリア州の各自治体の市長や警察幹部が逮捕されたとの報道もあります。現在もこの作戦は継続しており、軍と犯罪組織との衝突が懸念されるため、こうした地域へはどんな目的であっても近づかないようにしてください。

４ 誘拐・強盗事件発生状況

今年は３月までに誘拐事件は、統計上発生していません。しかし、強盗事件についてはカラカス首都圏の比較的安全とされている地域でも発生しており、犯行には複数人が関与し、脅迫の際に凶器や拳銃が使用されるケースもあります。発生時間帯も夜間や深夜だけでなく、昼間帯での発生もあります。外出の際は、目的地までの経路や交通手段を十分に検討し、安全といわれている地域でも周囲に対する警戒を怠らないようにしてください。